

YAMAHA

Clavinova[®]

CLP-670/CLP-570

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

クラビノーバは、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、伝統に培われた感性と
先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

ピアノの原理を応用した

小気味良いタッチ感覚のAE鍵盤をはじめ、

音色にはリアルで高品位なAWM音源、

洗練された様々な機能の採用により、

クラビノーバならではの

豊かな演奏感を体感していただけます。

さらには、デジタル楽器の

統一規格・MIDI端子に加え、

拡張用の接続端子も装備しており、

演奏表現の可能性がいっそう広がります。

本書では、クラビノーバの魅力

いつまでもお楽しみいただけますよう、

正しい取り扱い方法を説明しています。

ぜひご一読ください。



もくじ

	ページ
ご使用前に	1
仕様	2
クラビノーバの組み立てかた	
CLP-670	3
CLP-570	5
各部の名称とはたらき	7
オプション(別売品)のご紹介	8
さあノ弾いてみましょう	9
いろいろな効果や機能を活用しましょう	
ペダル効果	11
ブリリアンス機能	11
リバース効果	11
エフェクト機能(CL P-670のみ)	11
トランスポーズ(移調)機能	12
ピッチコントロール機能	13
楽譜の読み方	14
弾き語り講座	15
練習曲(赤いスイートピー)	17
MIDIで楽しみましょう	19
MIDIインプリメンテーションチャート	26

ご使用前に

設置場所



次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

お取り扱い



落としたり、物をぶつかけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

電源の処理



ご使用後は電源スイッチを切ってください。

外装のお手入れ



お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗らないでください。

他の電気機器への影響



ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

保証書の手続き



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくことになりますので、充分ご注意ください。

保管



この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

仕様

CLP-670

- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ1、ピアノ2、エレクトリックピアノ1、エレクトリックピアノ2、ハーブシコード1、ハーブシコード2、チェレスタ、パイプ、ギター1、ギター2
- 効果・機能：ブリリアンス、リバーブ、エフェクト、トランスポーザー、ピッチコントロール
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフトペダル、ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子
IN(L/R)、OUT(L/R)、
AUX出力端子 OUT(L/R)、
MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ：60W(30W×2)
- スピーカー：13cm×2, 5cm×4
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：60W
- 外装：仕上げ；ブラックローズウッド調仕上げ
間口；139.0cm、奥行；48.7cm
高さ；80.7cm、重量；62.0kg
- 装備：スライド式キーカバー、折りたたみ式譜面立て

CLP-570

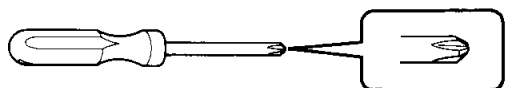
- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ1、ピアノ2、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、チェレスタ、パイプ、ギター
- 効果・機能：ブリリアンス、リバーブ、トランスポーザー、ピッチコントロール
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフトペダル、ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子
IN(L/R)、OUT(L/R)、
AUX出力端子 OUT(L/R)、
MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ：40W(20W×2)
- スピーカー：13cm×2, 5cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：60W
- 外装：仕上げ；ブラックローズウッド調仕上げ
間口…139.0cm 奥行…48.7cm
高さ…80.7cm 重量…59.0kg
- 装備：スライド式キーカバー、折りたたみ式譜面立て

クラビノーバの 組み立てかた

CLP-670

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

1. + (プラス) のドライバーを用意します。



2. 箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。

ネジセット VH72410

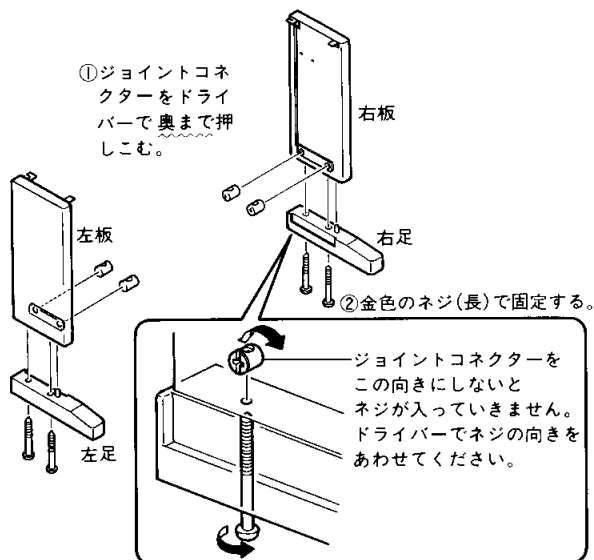
ジョイントコネクター 4ヶ

黒いネジ(中) 4ヶ

金色のネジ(長) 4ヶ

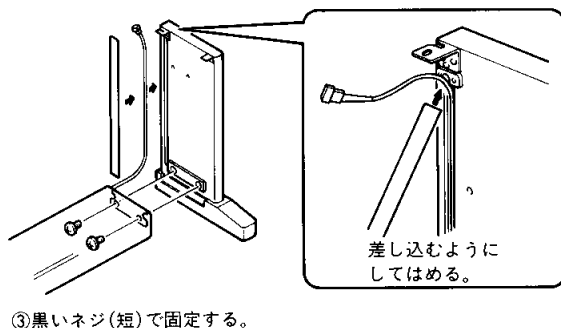
黒いネジ(短) 8ヶ

3. 右板と右足、左板と左足を固定します。

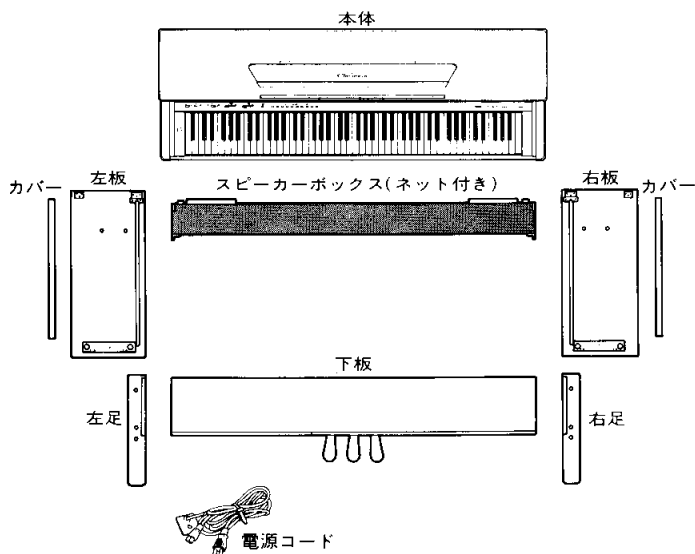


4. 右板と下板を固定します。

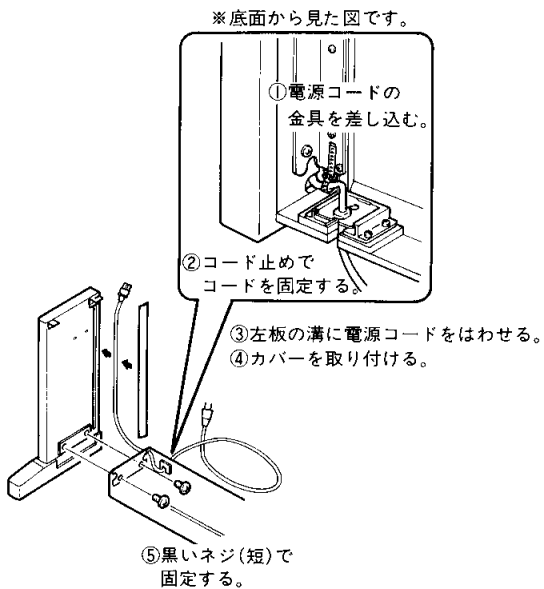
- ① 下板の底面で輪になっているコードをほどき、右板の溝の中をはわせて上方に立上げる。
- ② カバーをはめて、コードが外れないようにする。



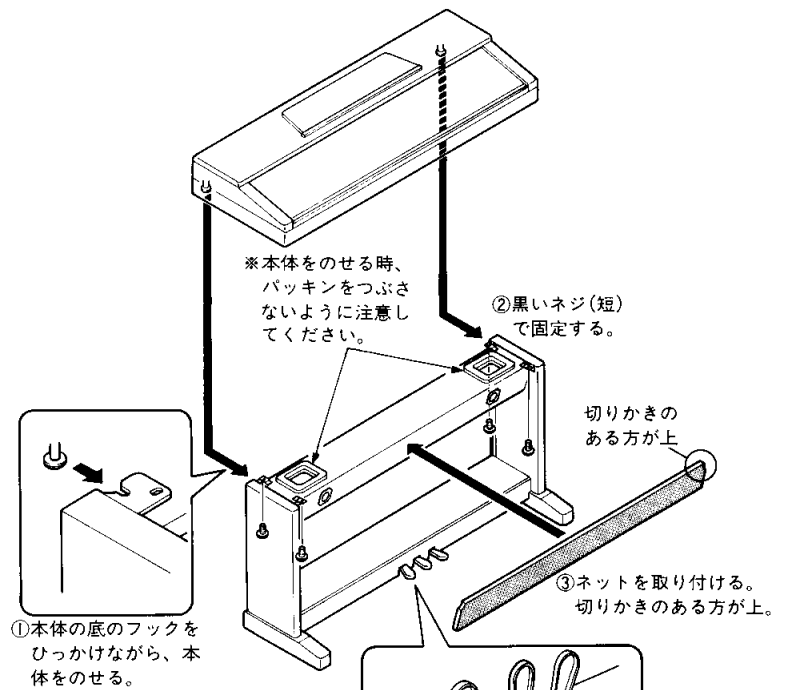
③ 黒いネジ(短)で固定する。



5. 左板と下板を固定します。

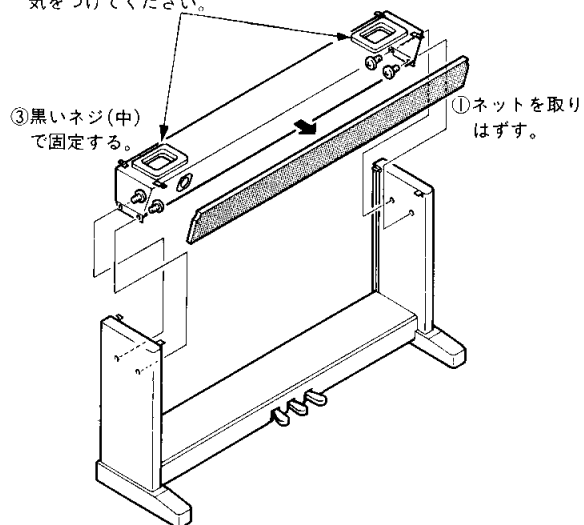


7. 本体をのせる。

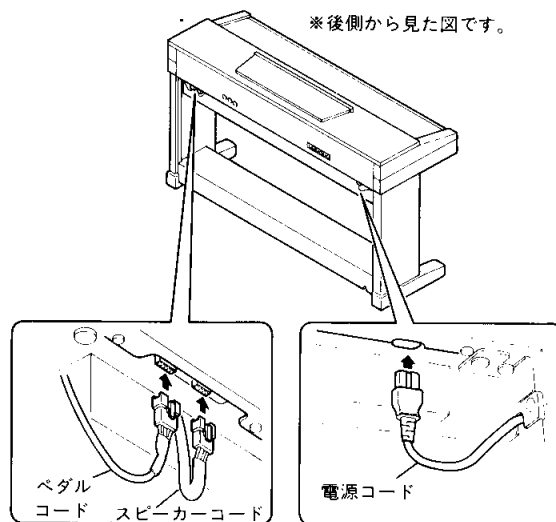


6. スピーカーボックスを固定します。

- ②スピーカーボックスをのせる。
※バックンをつぶさないように気をつけてください。



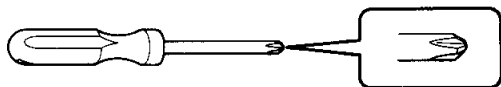
8. コネクターを差し込む。



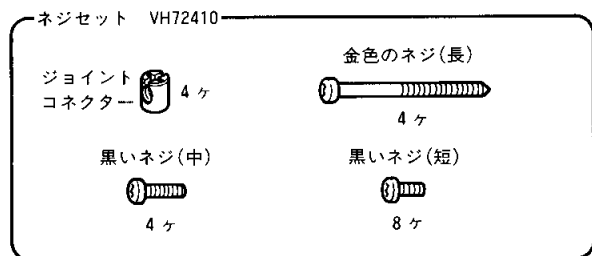
CLP-570

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

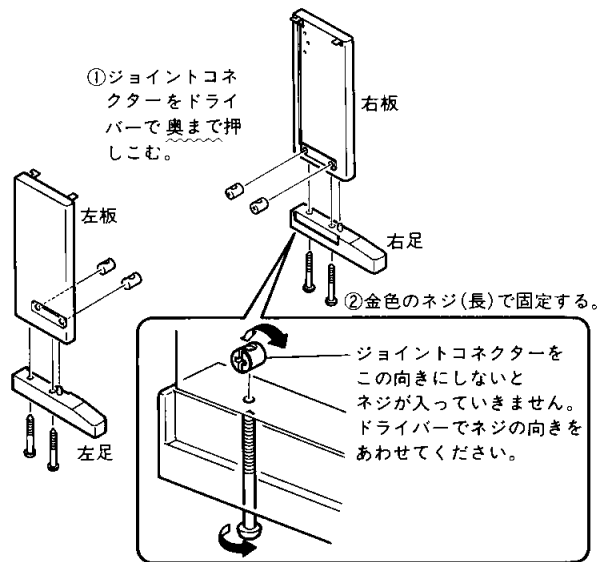
1.+(プラス)のドライバーを用意します。



2.箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。

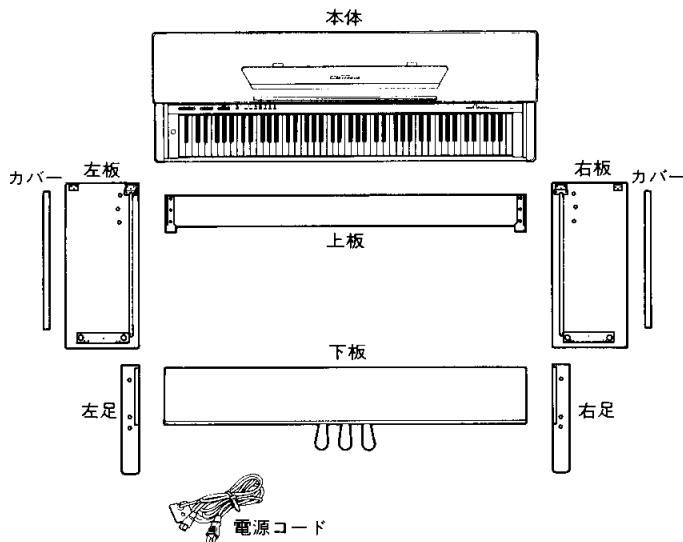
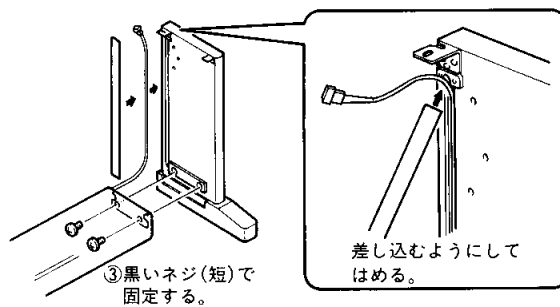


3.右板と右足、左板と左足を固定します。

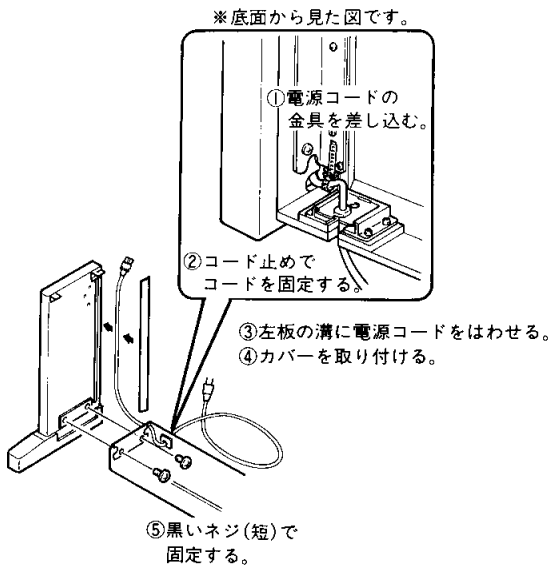


4.右板と下板を固定します。

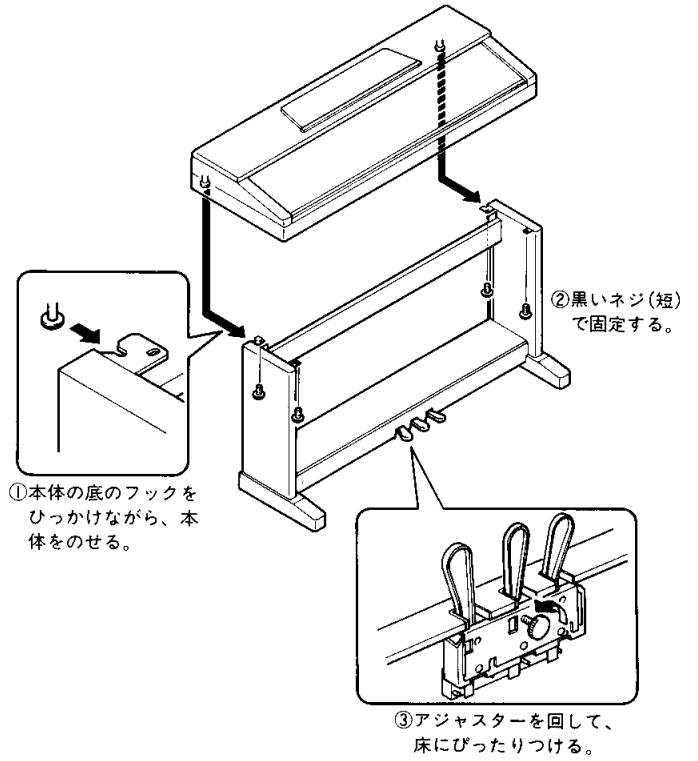
- ①下板の底面で輪になっているコードをほどき、右板の溝の中をはわせて上方に立上げる。
- ②カバーをはめて、コードが外れないようにする。



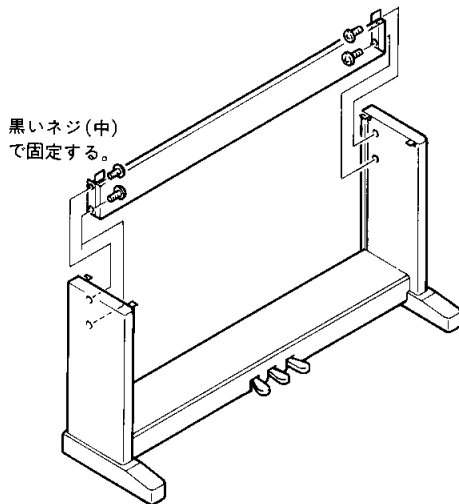
5. 左板と下板を固定します。



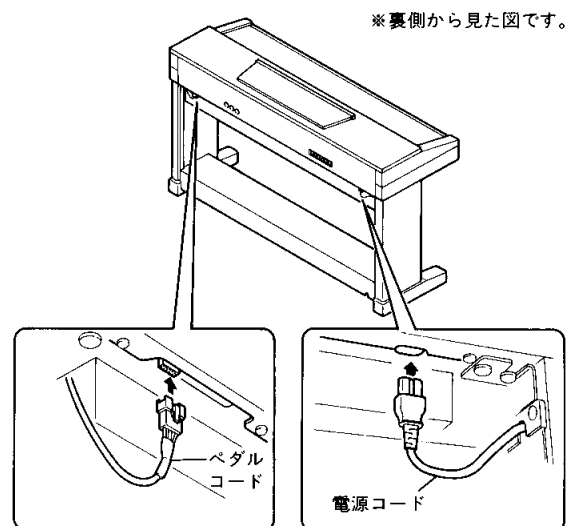
7. 本体をのせる。



6. 上板を固定します。

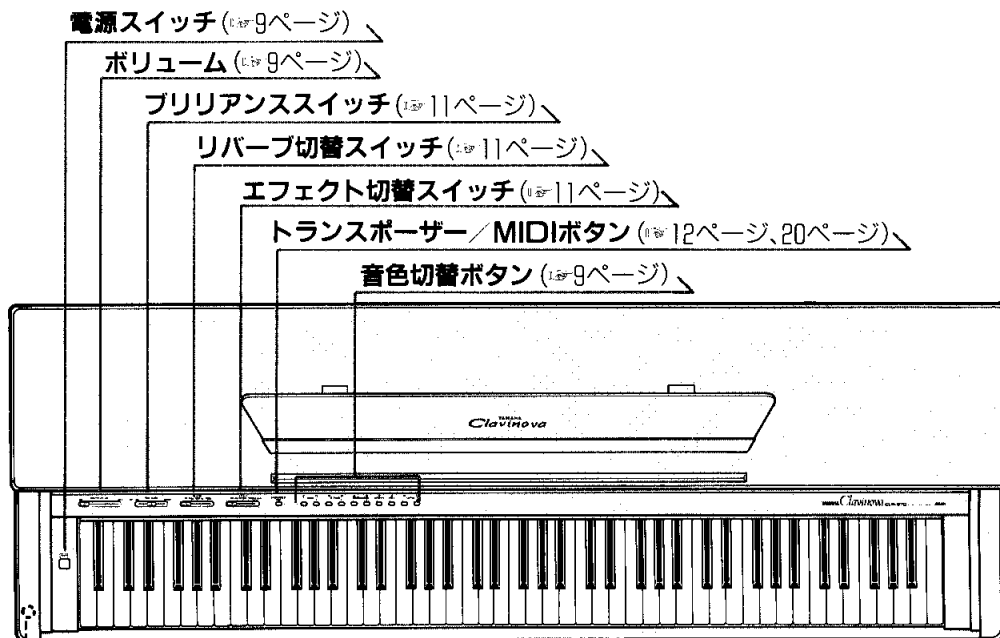


8. コネクターを差し込む。



各部の 名称とはたらき

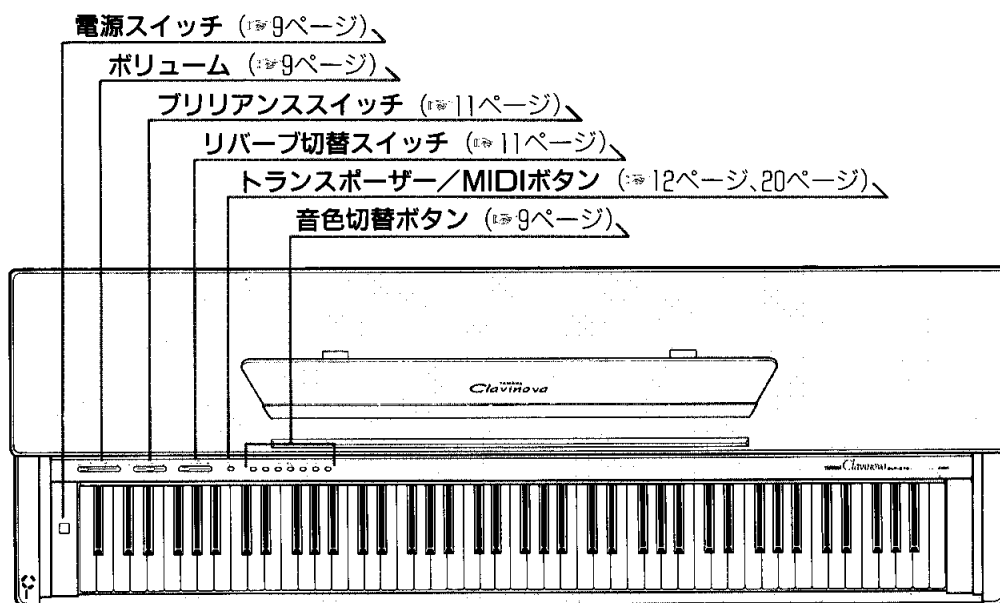
CLP-670



ヘッドホン端子(裏面にあります。) \

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

CLP-570

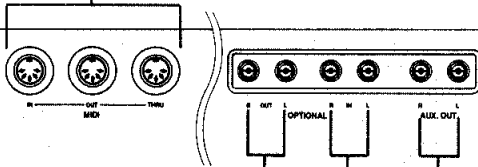


ヘッドホン端子(裏面にあります。) \

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

リアパネル

MIDI端子 (19ページ)



オプション出力端子

外部の製品にクラビノーバの音を送ることができます。

オプション入力端子

外部の製品の音をクラビノーバでいっしょに鳴らすことができます。

※クラビノーバの音とオプション入力端子に接続した外部の製品の音をステレオ等と一緒に鳴らしたい時は、AUX出力端子を使用してください。(オプション出力端子とステレオ等を接続しても、ステレオ等で鳴るのはクラビノーバの音だけになります。)

AUX出力端子

ステレオなどに接続して、より大きな音を出したり、演奏を録音することができます。

ステレオに接続した時はクラビノーバのボリュームは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

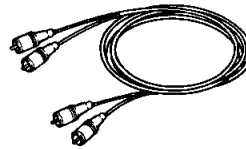
オプション(別売品)のご紹介

ヘッドホン・HPE-5
¥5,500

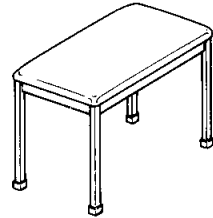


オーディオ接続コード・PSC-3

¥1,000



イス・BC-8



クラビノーバ用曲集

クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすいいっぱいの初心者向けの曲集です。

- ・クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

入門書/独習書

- ・クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300
レッスンから発表会まで、幅広くご利用ください。

キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。

- 隔月刊偶数月20日発売 — Vol.1~4 ¥580
Vol.5~9 ¥780

※表示の価格には、消費税は含まれていません。

さあ！ 弾いてみましょう。

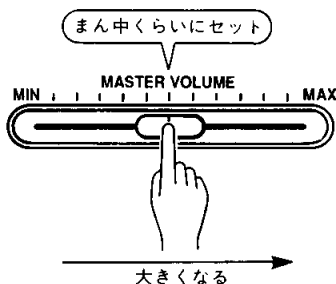
1. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

2. 電源スイッチをオンにします。



- ★電源スイッチをオンにした時は、ピアノ1の音色が選ばれています。(CLP-670においては、後で紹介するエフェクト切替スイッチの設定がデュアルになっている時は、ピアノ1とピアノ2が選ばれています。)
- ★電源スイッチを押して約3秒くらいしてから、音を出せます。
- ★電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

3. ボリュームで音量を調整します。

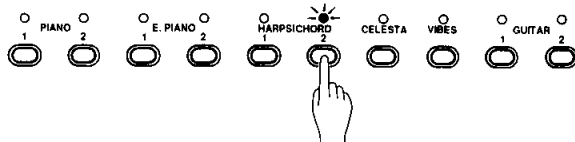


- ★鍵盤を押して音を出しながら、ボリュームで調整してください。

4. 音色を選んでください。

CLP-670

選んだ音色の
ランプが点灯



- ★音色を2つ選んで、いっしょに鳴らすこともできます。(12ページの“エフェクト機能のデュアル”参照)
- ★各音色はこんなイメージです。

ピアノ1、ピアノ2

異なった2種類のコンサートグランドピアノの音。ピアノ1の方が太い音です。

エレクトリックピアノ1、エレクトリックピアノ2

異なった2種類の電気ピアノの音。エレクトリックピアノ1の方が明るい音色です。

ハープシコード1、ハープシコード2

異なった2種類のハープシコード(バロック感覚の楽器)の音。ハープシコード2の方が明るい音です。

チェレスタ

チェレスタ(小さい鉄琴を内蔵した鍵盤楽器)の音。

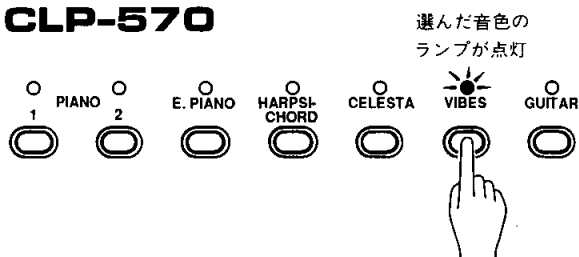
バイブ

ビブラフォン(金属的な独特の響きのする楽器)の音。

ギター1、ギター2

異なった2種類のギターの音。ギター1の方が響きのある音です。

CLP-570



★2つ以上の音色を同時に選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

★各音色はこんなイメージです。

ピアノ1、ピアノ2

異なった2種類のコンサートグランドピアノの音。
ピアノ1の方が太い音です。

エレクトリックピアノ

明るい電気ピアノの音。

ハープシコード

ハープシコード（バロック感覚の楽器）の音。

チェレスタ

チェレスタ（小さい鉄琴を内蔵した鍵盤楽器）の音。

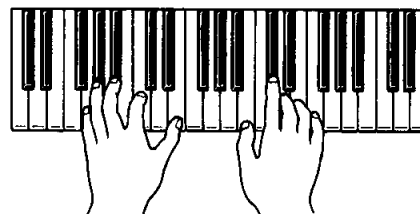
バイブ

ビブラフォン（金属的な独特の響きのする楽器）の音。

ギター

明るいギターの音。

5. 弾いてみましょう。



いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

★同時発音数について

CLP-670

同時発音数は32音(32音ポリフォニック)です。ただし、後で紹介するエフェクト機能を使っている場合は16音です。

CLP-570

同時発音数は16音です。(16音ポリフォニック)

※クラビノーバには様々な効果や機能がありますが、それらは後で順に紹介していきます。

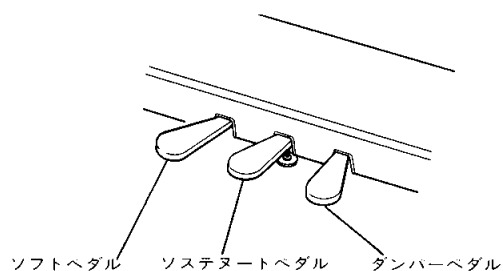
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

いろいろな効果や 機能を活用しましょう。

ペダル効果

スタンド部分にはピアノと同じようにソフト、ソステヌート、ダンパーというペダルがついています。各ペダルによる効果をうまく使い分けてください。



ソフトペダルを踏むと……………

音の響きがやわらかくなります(ソフト効果)。

ソステヌートペダルを踏むと…

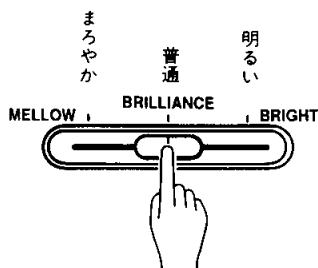
ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます(ソステヌート効果)。

ダンパーペダルを踏むと……………

全ての音に余韻がつきます(ダンパー効果)。
なおCLP-670は、ペダルの踏み込み量で余韻の長さが決まります(数段のハーフペダル効果により、踏み込むほど響きが豊かになる)。

ブリリアンス機能

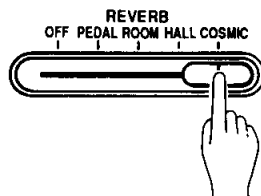
音の明るさ(音質)を3種類の中から選択できます。



ブリリアンススイッチを、希望する音の明るさのところに切り替えてください。

リバーブ効果

リバーブをかけることができます。リバーブをかけると、音の響きが豊かになります。



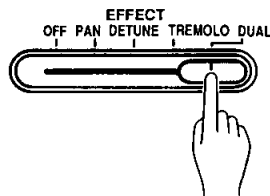
リバーブ切替スイッチを、希望する響きのところに切り替えてください。

★切り替えによって次のようになります。

- オフ：リバーブはかかりません。
- ペダル：ダンパーペダル(右端のペダル)を踏んだ時だけ、穏やかな響きが得られます。
- ルーム：響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
- ホール：コンサートホールで弾いた時のような音になります。
- コズミック：こだまのような響きが得られます。

エフェクト機能 (CLP-670のみの効果です。)

音に特殊な変化を与えることができます。



エフェクト切替スイッチを、希望する効果のところに切り替えてください。

★切り替えによって次のようになります。

- オフ：特殊効果はかかりません。
- パン：生のピアノと同じように低い方の音は左の方から、高い方の音は右の方から聞こえるようになります。つまり、弾いた鍵盤の付近で鳴っているような、より自然な感じになります。
- デチューン：音程が微妙にずれた2つの音が同時に鳴って、厚みのある音になります。
- トレモロ：左右別々に音が大きくなったり小さくなったりして、音が左右の間でゆれます。

●デュアル：2つの音色を選んでいっしょに鳴らすことができます。このポジションに切り替えた後、組み合わせたい2つの音色切替ボタンを同時に、または順に押ししてください。なお、先に選んだ音色は右側で鳴り、後で選んだ音色は左側で鳴ります。また、1曲の中で曲の進行に合わせて2音色の状態と1音色の状態を、このポジションのままで切り替えて使い分けることができます。1音色の状態にする時は希望する音色のボタンを続けて2回押ししてください。(ただし1回押しただけでも1音色になる場合があります。)

※エフェクト切替スイッチを他の効果のところに切り替えると、2音色のうちの最後に指定した方の音色になります。
 ※デュアルモード1音色の状態からエフェクト切替スイッチを他の効果のところに切り替えた後、音色を変えずに再びデュアルに戻した場合は、1音色の状態のままとなります。
 ※デュアルモードにすると、それまで使用していた音色とその1つ前まで使用していた音色の組み合わせになります。また、デュアルモードで電源スイッチをオンにした時は、ピアノ1とピアノ2の組み合わせになります。

トランスポーズ(移調)機能

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと

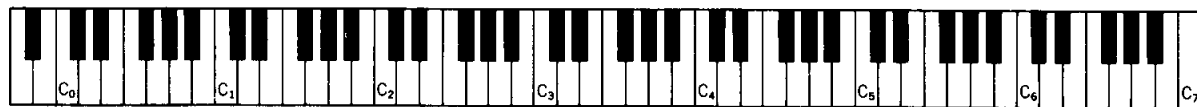


■移調量の設定方法

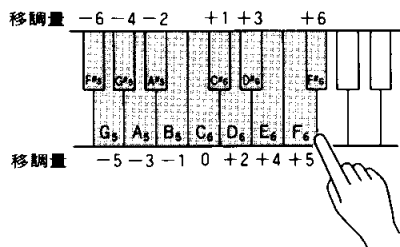
1. トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、



2. “トランスポーズ量指定用鍵盤”で移調量を指定します。



たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、C₆よりも5半音高い鍵盤、つまりF₆の鍵盤を押します。



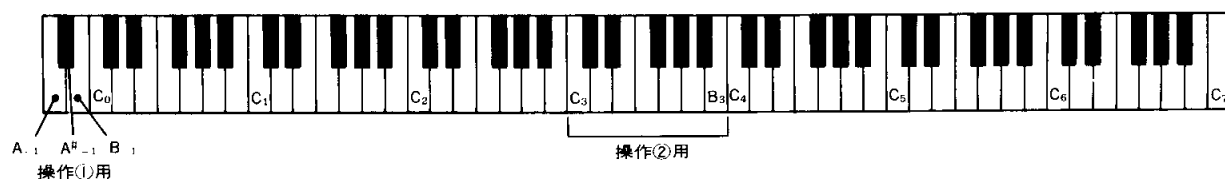
★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。

★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。

ピッチコントロール機能

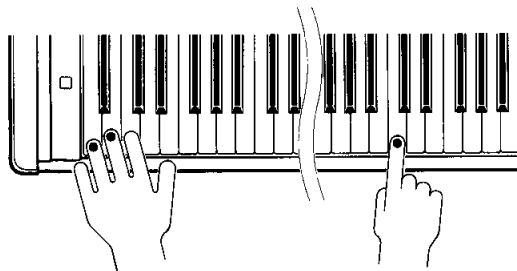
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせます。

■音程の合わせ方



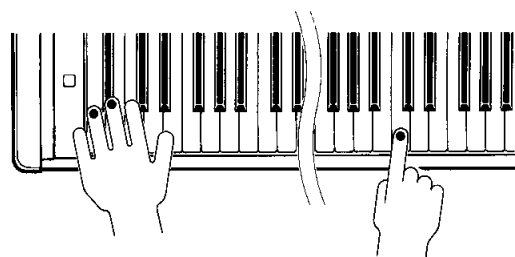
◆音程を上げる時

- ①上の図に示したA₋₁とB₋₁の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。



◆音程を下げる時

- ①上の図に示したA₋₁とA[#]₋₁の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A₃=440Hz)

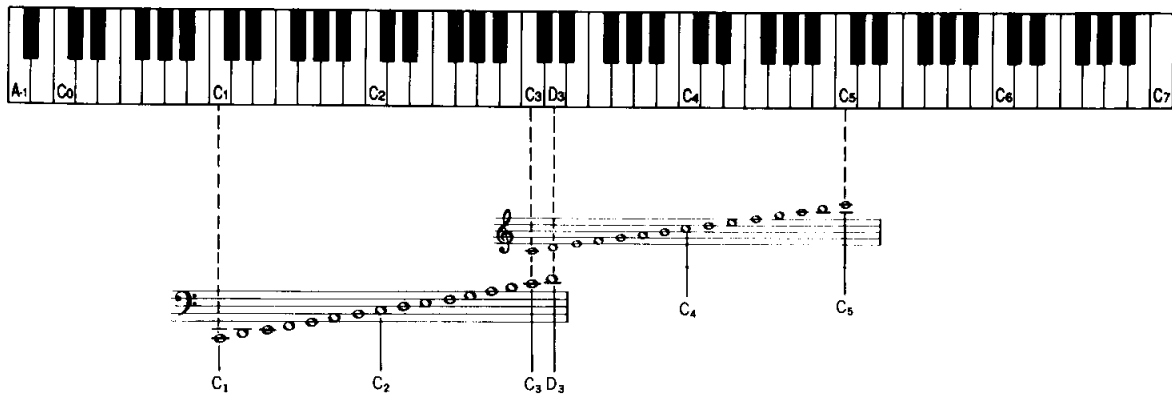
★元の高さ(A₃=440Hz)に戻す時は電源を入れなおすか、またはA₋₁、A[#]₋₁、B₋₁の3鍵盤を同時に押しながら、C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押してください。

★±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。(参考：100セント＝半音)



楽譜の読みかた

■鍵盤と五線譜の関係



■音符と休符の長さ

音符

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
○ 全音符	4つ分のばす
♪. 付点2分音符	3つ分のばす
♪ 2分音符	2つ分のばす
♪ 4分音符	
♪ 8分音符	♪ (♪♪ = ♪) 半分にする
♪ 16分音符	♪ (♪♪♪ = ♪) よにする
♪♪♪ 3連音符	♪ 3等分する

休符

休符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
— 全休符	♪♪♪♪ 4つ分休む
— 付点2分休符	♪♪♪ 3つ分休む
— 2分休符	♪♪ 2つ分休む
♪ 4分休符	
♪ 8分休符	♪ (♪♪ = ♪) 半分休む
♪ 16分休符	♪ (♪♪♪ = ♪) よだけ休む

(♪♪♪ は ♪ を 3等分)

■記号の意味

記号と読み方	意味	記号と読み方	意味
# シャープ	半音上げる	: : リピート	くりかえし。
b フラット	半音下げる	1. 2. 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあとにへ。
♮ ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初からくりかえし。
♪ タイ	音を続ける	D.S. ダルセーニョ	記号からくりかえし。
♪ スラー	なめらかに	♯ Coda コーダ	くりかえしのあとに ♯Coda へ。
♩ フェルマータ	その音をのばす		
Tacet タセット	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

弾き語り講座

たった1台で、メロディー、リズム、ハーモニーと音楽の3要素を表現できるスグレた楽器、ピアノ。でも、この3要素をぜんぶひとりで演奏するのはとても大変なこと。やっぱりそれなりに“レッスン”ということになってしまいます。

そこで、登場するのが『弾き語り』。3要素のうちメロディーの部分をやれば、残りのハーモニーとリズムだけをピアノで弾けばよいのです。これでかなり難しい曲も雰囲気を出しながら、やさしく演奏することができます。

ピアノ弾き語りでは、おもに右手でコード(和音)を、左手でベースを担当し、右手と左手の弾くタイミングでリズムを作るというのが基本です。

STEP 1 まずは基本をしっかりと

コードには、いろいろな種類があって“C”“G”などアルファベット1文字のものをメジャーコード、“Cm”“Gm”など小さい“m”のついたものをマイナーコード、そして“C7”“G7”などをセブンスコードとよびます。メジャーコードは明るめ、マイナーコードはちょっと寂しげ、セブンスコードはハデな印象です。ベースの基本は、“Cm”“C7”だったらC音(ド)、“Gm”“G7”だったらG音(ソ)をおさえることです(これを専門用語ではルートとか根音と呼びます)。このコードとベースの弾き方を覚えると、たいいていの曲を弾くことができます。

STEP 2 フィーリングでひと工夫

“C”“G”“Am”“F”の4つのコードは、よく使われる代表的なものです。これらをマスターすると『ダイアナ』や『涙のリクエスト』など、たくさんの曲が弾けます。

EX. 1 ダイアナ

by Paul Anka

© 1957 by PAMCO music inc.
The rights for Japan assigned to
musical rights (Tokyo) K.K.
日本音楽著作権協会(出)
許諾第8970647-901号

EX. 2

基本形

VARI.1

VARI.2

このようにCコードなら右手は“ドミソ”左手は“ド”、Amコードなら“ドミラ”と“ラ”を全音符で弾くのが、いちばんやさしい演奏法。あとは、その曲にあわせ、4分音符で刻んだり3連符で“ザザザ”とやるなどフィーリングでリズムに演奏を(EX.2)。あわせて左手のほうも工夫しよう。ここまでできるようになれば、コードネームとメロディーだけとか歌詞だけの楽譜を見てもいろいろなバリエーションでプレイを楽しむことができます。

STEP 3 ちょっと高度にアルペジオ

コード演奏には、STEP 1・2でやってきたように“ジャン・ジャン・ジャン”とその和音を一度におさえる方法のほかに、アルペジオという弾き方があります。アルペジオというのは、その和音につかわれている音をバラバラにして演奏することで、分散和音ともよばれています。いままでの弾き方ではなにか物足りないナァという時や

メロウな感じの曲などで使う、ピアノ弾き語りには欠かせないテクニック。ここまでマスターすると演奏の幅がグーンと広がります。たとえば、コード演奏を下のEX. 3-VARI1・2のパターンで弾いても、また一味ちがった演奏に！

EX. 3

基本形 C VARI.1 VARI.2

STEP 4 転回テクニックでラクラク演奏

さて、いままでは、Cコードを“ドミソ”、Amコードを“ドミラ”と覚えてきました。ところが、コードはいつもこういうふうには弾かなければイケナイというものではありません。音のつきかさねの順番をちょっと変えてCコードを“ソドミ”とか“ミソド”、Amコードを“ラドミ”“ミラド”と弾くこともできるのです。

ちょっと鍵盤をおさえてためてみましょう。“ドミソ”と“ソドミ”では響きがちがいますね。こういうふうには順番をかえる(=転回するといいます)テクニックを覚えると、雰囲気を変えられるというお楽しみメリットと同時に演奏をラクにすることができます。EX.4を見てくださ

い。このようにC→Amに変えるものも指1本をとなりに動かすだけ。しっかりマスターしてバラエティーに富んだ響きの流れるような演奏をモノにしましょう。

EX. 4

ソの音がラになるだけでコードが変わる。

全部の指をおさえかえなければならない。

●それでは、17ページの「赤いスイートピー」で弾き語りにトライ！

「赤いスイートピー」のコード(右手)とベース(左手)のおさえ方

One Point Advice

- ★イントロは譜面通りに
- ★A|B|Cは左のようなストローク奏法が似合います。
- ★エンディングは譜面通りに。



赤いスイートピー

作詞：松本 隆
作曲：呉田軽穂

Intro.

Medium Slow

C Dm ConE Dm 2 1 1 G7

A

C Dm Em Am Dm G7 C

はるいーろのきしゃに の っ て うみに つれていっ てよー

C Dm Em Am Dm G7 C7

たばこーのにおいの シャ ツに そつと よりそうか ら な ぜ し

F C Dm C7 F E7 Am G7

り あった ひからー はんと しすぎても あなたーつて ても にぎらない I will

B C Em F FonG C Em

fol-low you... あなたにーつ いてゆーきたい I will fol-low you... ちょっぴりーき

mf

F FonG

がよわーいけどすてきーなーひとだかーらー

C C Dm Em Am F FonG **ENDING** C

こころーのきしべに さいたあかいスイートピー

mp

Dm ConE Dm G7 C

MIDIで 楽しみましょう。

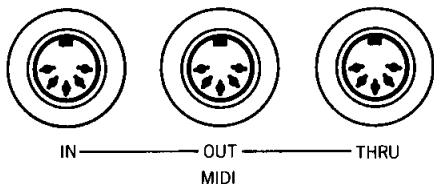
クラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス (Musical Instrument Digital Interface) の頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

本機のMIDI端子

本機には、次のように3種類のMIDI端子があります。(どのMIDI製品を見ても、実はこの3種類以外にはMIDI端子はありません。)



MIDI OUT(ミディアウト)

クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

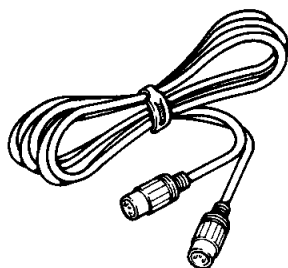
MIDI THRU(ミディスルー)

クラビノーバのMIDI IN端子から入力した演奏内容等が、そのまま出力されます。(つまり、さらに別の製品にも同じ内容を送ることが可能)

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15: 15m) ¥3,000

(MIDI-03: 3m) ¥1,100

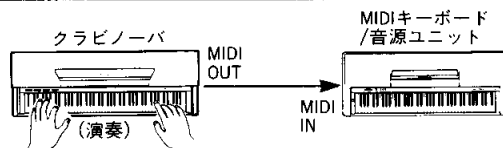


MIDIでできること

MIDIで何ができるかは、接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品に共通したMIDI機能なら、とりあえず可能性ありということになります。MIDI製品と一日にいても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

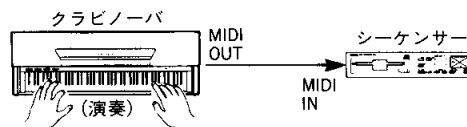
MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



- ★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。
- ★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。
 - ペダルを操作した時……ペダルを踏んだ/離したを意味する情報を出力
 - パネルデータの送信機能を使った時、またはパネルデータバルクダンプリクエストを受信した時……パネル上の設定状態等を出力
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子 (OPTIONAL IN) から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
- ※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。
- ※音源ユニットは簡単にいうとキーボードから鍵盤を除いたもの (=音源まわりを残したもの) だと思ってください。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合



★クラビノーバでの演奏内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容を記録すれば、後でそれを再生して自動演奏させることができます。

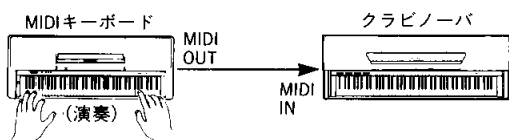
ここで一つ考えなければならないのは、同じように演奏内容を記憶させることができる機械にテープレコーダーというものがありますが、これとは実際には大きく異なることがある、という事実です。テープレコーダーには音そのものを記憶させますが、シーケンサーの場合は音ではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを記憶させるということです。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品

(MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの)を使わなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★MIDIシーケンサーには、演奏内容だけでなく、音色の切替情報やイクスクループ情報(後述)なども記録できます。(つまり前項の“MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合”で紹介したものは全て記録できます。)

MIDI IN端子を使ってできること

◆MIDIキーボードに接続した場合



★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みがあります。

★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。

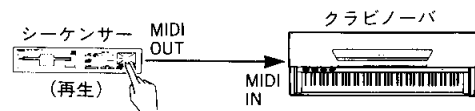
★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。

- ペダル効果をコントロールする情報
- プリリアンスの選択を変える情報
- リバーブの選択を変える情報
- エフェクトの選択を変える情報
- パネルデータバルクダンプのリクエスト情報

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

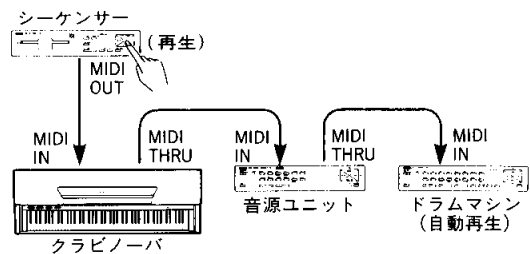
◆MIDIシーケンサーに接続した場合



★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

MIDI THRU端子の使い方

MIDI THRU端子はシステム接続する時に便利です。MIDI THRU端子を使った接続として、たとえば次のような自動演奏システムが考えられます。



★このシステムは、シーケンサーを再生してクラビノーバと音源ユニットで鳴らし、それにリズムを加えて自動演奏化しようというものです。

※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。(設定しなくてもたまたま動くこともありますが……)

◆MIDIチャンネルの設定

MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり(テレビの場合は1から62ですね)、ほとんどのMIDI情報*に“この情報は○○チャンネルだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつかのチャンネルの情報が次々に出力されます。そして1本のMIDIケーブルの中をいくつかのチャンネルの情報がいっしょに

流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、必要なそのチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。

そして、最も一般的なMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

送・受信チャンネルの設定方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②該当する鍵盤を押します。

●送信チャンネル

- 1に切り替える場合.....C₁
- 2に切り替える場合.....C_{#1}
- ⋮
- 16に切り替える場合.....D_{#4}

●オムニオフ+受信チャンネル

- 1に切り替える場合.....C₃
- ⋮
- 16に切り替える場合.....D_{#4}

●オムニオン+受信チャンネル

- 1に切り替える場合.....E₄

※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのボイスメッセージ（鍵盤、ペダル、音色スイッチ等）でも受信する状態です。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも送信=チャンネル1、受信=オムニオン+チャンネル1が選ばれています。

◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製

品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ピアノ1ボタンを押します。
 - ローカルコントロールオフにする場合.....PIANO 1のランプを点灯させる。
 - ローカルコントロールオンに戻す場合.....PIANO 1のランプを消灯させる。
- ★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもローカルコントロールオンが選ばれています。

◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わらなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合には、プログラムチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ピアノ2ボタンを押します。
 - プログラムチェンジオフにする場合.....PIANO 2のランプを点灯させる。
 - プログラムチェンジオンに戻す場合.....PIANO 2のランプを消灯させる。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもプログラムチェンジオンが選ばれています。

◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態にすると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

オン／オフの切替方法

- ①トランスポージャー／MIDIボタンを押しながら、
- ②エレクトリックピアノ1（CLP-570はエレクトリックピアノ）ボタンを押します。

- コントロールチェンジオフにする場合……………
E.PIANO 1（CLP-570はE.PIANO）のランプを点灯させる。
- コントロールチェンジオンに戻す場合……………
E.PIANO 1（CLP-570はE.PIANO）のランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもコントロールチェンジオンが選ばれています。

◆マルチティンバーモードオン／オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態にすると、チャンネル1～10（CLP-570は1～7）のどのチャンネルの情報でも受信できるようになります。

たとえばシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

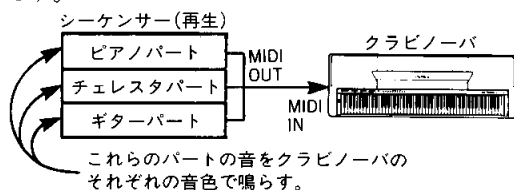
オン／オフの切替方法

- ①トランスポージャー／MIDIボタンを押しながら、
- ②エレクトリックピアノ2（CLP-570はハーブシコード）ボタンを押します。

- マルチティンバーモードオンにする場合……………
E.PIANO 2（CLP-570はHARPSICHORD）のランプを点灯させる。
- マルチティンバーモードオフに戻す場合……………
E.PIANO 2（CLP-570はHARPSICHORD）のランプを消灯させる。

★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★マルチティンバーモードの代表的な使用例は次のとおりです。



つまり（別々のチャンネルで）シーケンサーに記録された様々なパートの演奏を、クラビノーバ1台で再生できます。（つまり、アンサンブルを楽しむことができます。）

★電源スイッチをオンにした時は、いつもマルチティン

バーモードオフが選ばれています。

★同時に発音できるのはCLP-670は32音まで、CLP-570は16音までです。

◆スプリット&レフトローカルオフ

スプリット&レフトローカルオフという機能を使うと、「この鍵盤から低い方の音はクラビノーバでは鳴らないようにする」という状態にできます。もちろん、鳴る音と鳴らない音の境にする鍵盤は自分で指定できます。

これは、左手で弾いた音を外部の製品側で鳴らし、右手で弾いた音をクラビノーバ自身で鳴らすための機能です。この時、左手の音と右手の音は異なった音色にします。

たとえば左手をプラス、右手をエレクトリックピアノのような組合せです。

また、左手はうまく弾けないので右手の音だけ鳴らす、という使い道もあります。

設定方法

- ①トランスポージャー／MIDIボタンを押しながら、
- ②ハーブシコード1（CLP-570はチェレスタ）ボタンを押します。すると、ハーブシコード1（CLP-570はチェレスタ）ボタンのランプが点滅しますので、そのままトランスポージャー／MIDIボタンだけは離さずに、
- ③左手の最高音の鍵盤（鳴らないようにする一番右側の鍵盤）を押します。

これで設定完了です。スプリット&レフトローカルオフの状態となりました。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また右手の演奏情報が“MIDIチャンネルの設定”のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。必要なら右手の音もさらに別の製品で、クラビノーバの音といっしょに鳴らすことができます。

★MIDIシーケンサーに、左右別々のチャンネルで記録することも可能です。

★スプリット&レフトローカルオフの状態からもとの状態に戻す時は、次のようにしてください。

- ①トランスポージャー／MIDIボタンを押しながら、
- ②ハーブシコード1（CLP-570はチェレスタ）ボタンを押します。そして両方のボタンを離します。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆スプリット&ライトローカルオフ

前項のスプリット&レフトローカルオフは左手の音が出ないようにする機能でしたが、この機能は逆に右手の音が出ないようにする機能です。機能の使い道は前項と同様です。

設定方法

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
 - ②ハープシコード2 (CLP-570はパイプ) ボタンを押します。すると、ハープシコード2 (CLP-570はパイプ) ボタンのランプが点滅しますので、そのままトランスポージャー/MIDIボタンだけは離さずに、
 - ③左手の最高音の鍵盤 (鳴るようにする一番右側の鍵盤) を押します。
- これで設定完了です。スプリット&ライトローカルオフの状態となりました。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信され、右手の演奏情報は“MIDIチャンネルの設定”のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。外部のMIDI製品の受信チャンネルは、クラビノーバの送信チャンネルに合わせてください。

★スプリット&ライトローカルオフの状態からもとの状態に戻す時は、次のようにしてください。

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ハープシコード2 (CLP-570はパイプ) ボタンを押します。そして両方のボタンを離します。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆パネルデータの送信

パネル上の設定状態をシーケンサーに記録したり、別のクラビノーバのパネル上の設定をクラビノーバに合わせるができます。

シーケンサーに演奏情報を記録する前にパネル情報を記録しておけば、後でシーケンサーを再生した時、自動的にクラビノーバの状態が記録した時の状態に切り替わります。(パネルスイッチは動きません。)

※送信される情報は、選択されている音色、プリリアンスの選択、リバーブの選択、エフェクトの選択 (CLP-670のみ) の4種類です。

送信方法

- ①トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、
- ②チェレスタ (CLP-570はギター) ボタンを押します。すると、すぐに送信されます。

MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読める方はご覧ください。CLP-670/CLP-570のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

1. 送信データ

1-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

- ①ノートオン/オフ：鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n-0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k:21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvvv	v:0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

- ②コントロールチェンジ：各ペダル操作をした時に送信します。

ステータス	1011nnnn(BnH)	n-0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	c:64(ダンパー), 66(ソステヌート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	CLP-670の場合:

ダンパー-v:0~15(オフ), 16~31(1),
32~47(2), 48~63(3),
64~79(4), 80~95(5),
96~111(6), 112~127(7)

CLP-570の場合:
ダンパー-v:0~63(オフ), 64~127(オン)

- ③プログラムチェンジ：音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1100nnnn(CnH)	n-0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo.	0ppppppp	CLP-670の場合:

p-0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO 1),
3(E.PIANO 2), 4(HARPSICHORD 1),
5(HARPSICHORD 2), 6(CELESTA), 7(VIBES),
8(GUITAR 1), 9(GUITAR 2)

CLP-570の場合:
p-0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO),
3(HARPSICHORD), 4(CELESTA), 5(VIBES),
6(GUITAR)

1-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

- ①アクティブセンシング：約200msecごとに1回送信します。

ステータス	1111110(FEH)
-------	--------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

- ①パネルデータバルクダンプ：パネルデータの送信機能を働かせた時と、パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)
ID No.	01000011(43H)
サブステータス	0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111100(7CH)
バイトカウント	00000000(00H)
バイトカウント	00010000(10H) (CLP-570は0FH)
	01010011(53H) "S"
	01001011(4BK) "K"
	00100000(20H) スペース
	00100000(20H) スペース
	00110010(32H) "2"
	00110000(30H) "0"
	00110110(36H) "6"
	00111001(39H) "9"(CLP-570は"7")
	00100000(20H) スペース
	00100000(20H) スペース
バージョンNo.	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
データ	0ppppppp CLP-670の場合: p=0(プログラムNo.1)~9(プログラムNo.10)
	CLP-570の場合: p=0(プログラムNo.1)~6(プログラムNo.7)
	0bbbbbbb b=0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)
	0rrrrrrr r=0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL), 4(COSMIC)
	0eeeeeee CLP-670のみ e=0(OFF), 1(PAN), 2(DETUNE), 3(TREMOLO), 4(D U A L)
チェックサム	0eeeeeee
EOX	11110111(F7H)

②モデルIDコードバルクダンプ：モデルIDコードバルク

ダンプリクエストを受
信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)
ID No.	01000011(43H)
サブステータス	0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111101(7DH)
バイトカウント	00000000(00H)
バイトカウント	00010000(10H)
	01010011(53H) "S"
	01001011(4BH) "K"
	00100000(20H) スペース
	00100000(20H) スペース
	00110010(32H) "2"
	00110000(30H) "0"
	00110110(36H) "6"
	00111001(39H) "9"(CLP-570は"7")
	00100000(20H) スペース
	00100000(20H) スペース
バージョンNo.	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
	0bbbbbbb
チェックサム	0eeeeeee
EOX	11110111(F7H)

2. 受信データ

2-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン／オフ：ノート No. によって発音の音程が
決まり、ベロシティによって音量
および音色が決まります。

ステータス	1001nnnn(9nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvv v=0~127(1~127: キーオン, 0: キーオフ)

②ノートオフ：ノートオフをステータス 8nH で送り出す
機器との対応のためです。

ステータス	1000nnnn(8nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvv v=無視します

③コントロールチェンジ：メッセージに従って各対応を
します。

ステータス	1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc c=7(ボリューム*), 64(ダンパー), 66(ソステナート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvv v=0(最小)~127(最大)

CLP-670の場合:
ダンパー-v=0~15(オフ), 16~31(1),
32~47(2), 48~63(3),
64~79(4), 80~95(5),
96~111(6), 112~127(7)

CLP-570の場合:
ダンパー-v=0~63(オフ), 64~127(オン)
ソステナート/ソフト v=0~63(オフ),
64~127(オン)

*ボリュームはマルチティンバーモードオンの時のみ認識します。

④プログラムチェンジ：プログラム No. によって音色が
決まります。なお、指定番号よ
りプログラム No. の大きいメッ
セージは無視します。

ステータス	1100nnnn(CnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo.	0ppppppp CLP-670の場合: p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO 1), 3(E.PIANO 2), 4(HARPSICHORD 1), 5(HARPSICHORD 2), 6(CELESTA), 7(VIBES), 8(GUITAR 1), 9(GUITAR 2)
	CLP-570の場合: p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD), 4(CELESTA), 5(VIBES), 6(GUITAR)

◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

ステータス	1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc c=122(ローカルコントロール), 123(オールノートオフ), 124(オムニオフ/オールノートオフ), 125(オムニオン/オールノートオフ)
コントロール値	0vvvvvv ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン) ローカルコントロール以外 v=0

2-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①アクティブセンシング：受信すると、センシングを開
始します。その後 400msec の
間ステータスもデータもこ
ない場合には、発音を強制的に
停止させます。

ステータス	11111110(FEH)
-------	---------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

- ①パネルデータバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、パネルデータを送信します。

```
ステータス 11110000(F0H)
ID No. 01000011(43H)
サブステータス 0010nnnn(2nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo. 01111100(7CH) ユニバーサルバルクダンプリクエスト
EOX 11110111(F7H)
```

- ②モデルIDコードバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、モデルIDコードを送信します。

```
ステータス 11110000(F0H)
ID No. 01000011(43H)
サブステータス 0010nnnn(2nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo. 01111101(7DH)
EOX 11110111(F7H)
```

- ③パネルバルクデータ：このメッセージを受信すると、パネル上の各設定が変わります。(パネルスイッチは動きません。)

```
ステータス 11110000(F0H)
ID No. 01000011(43H)
サブステータス 0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo. 01111100(7CH)
バイトカウント 00000000(00H)
バイトカウント 00010000(10H) (CLP-570は0FH)
01010011(53H) "S"
01001011(4BH) "K"
00100000(20H) スペース
00100000(20H) スペース
00110010(32H) "2"
00110000(30H) "0"
00110110(36H) "6"
00111001(39H) "9"(CLP-570は"7")
00100000(20H) スペース
00100000(20H) スペース
バージョンNo. 0bbbbbbb
0bbbbbbb
データ 0ppppppp CLP-670の場合：
p=0(プログラムNo.1)~9(プログラムNo.10)
CLP-570の場合：
p=0(プログラムNo.1)~6(プログラムNo.7)
0bbbbbbb b=0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)
0rrrrrrr r=0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL),
4(COSMIC)
0eeeeeee CLP-670のみ
e=0(OFF), 1(PAN), 2(DETUNE),
3(TREMOLO), 4(DUAL)
チェックサム 0eeeeeee
EOX 11110111(F7H)
```

- ④マルチティンバーモードオフ：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオフになります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670(CLP-570は19H)
データ 00010011(13H)
EOX 11110111(F7H)
```

- ⑤マルチティンバーモードオン：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオンになります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670(CLP-570は19H)
データ 00010101(15H)
EOX 11110111(F7H)
```

- ⑥ブリリアンス：このメッセージを受信すると、ブリリアンスの設定が変わります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670(CLP-570は19H)
特殊操作子 00010001(11H)
チャンネル 0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo. 01011000(58H)
コントロール値 0vvvvvv v=0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)
EOX 11110111(F7H)
```

- ⑦リバーブ：このメッセージを受信すると、リバーブの設定が変わります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670(CLP-570は19H)
特殊操作子 00010001(11H)
チャンネル 0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo. 01011001(59H)
コントロール値 0vvvvvv v=0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL),
4(COSMIC)
EOX 11110111(F7H)
```

- ⑧エフェクト：CLP-670の場合このメッセージを受信すると、エフェクトの設定が変わります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670
特殊操作子 00010001(11H)
チャンネル 0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo. 01011010(5AH)
コントロール値 0vvvvvv v=0(OFF), 1(PAN), 2(DETUNE), 3(TREMOLO),
4(DUAL)
EOX 11110111(F7H)
```

- ⑨受信チャンネルの切替：このメッセージを受信すると、受信チャンネルの設定がオムニオフに変わります。

```
ステータス 11110000(F0H)
YAMAHA ID No. 01000011(43H)
SK ID 01110011(73H)
機種ID 00011010(1AH) CLP-670(CLP-570は19H)
サブステータス 0111nnnn(7nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
EOX 11110111(F7H)
```

CLP-670/CLP-570

MIDIインプリメンテーションチャート

Date:1989.6.28
Version:1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック チャンネル 電源ON時 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****		モード 1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×			
ノート ナンバー 音 域	21~108 *****		21~108 21~108			
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、V=1~127 × 9nH、V=0		○ V=1~127 ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		×			
コントロール チェンジ	07 × 64 ○ 66 ○ 67 ○		○ ○ ○ ○	※1	ボリュームペダル ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~9 ※2 *****		○ 0~9 ※2 0~9 ※2			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チェーン	× × ×		× × ×			
リアル タイム クロック コマンド	× ×		× ×			
その他 ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (123~125) ※3 ○ ×			
備 考	※1 マルチ・ティンバーモードON時 ※2 CLP-570の場合は0~6 ※3 123はマルチ・ティンバーモードオン時、 又はオムニオフ時のみ受信					

モード 1：オムニ・オン、ポリ モード 2：オムニ・オン、モノ ○：あり
 モード 3：オムニ・オフ、ポリ モード 4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網苑お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市若林区鮎町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1-184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL.025-243-4321
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ柳田付工場内 TEL.0534-65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区五川町2-1-2 ヤマハ柳田名古屋流通センター TEL.052-662-2230
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
京都電音サービスステーション	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL.075-361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ柳神戸店内 TEL.078-321-1195
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ柳高松店内 TEL.0878-22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
【本社】 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1156

*住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

本 社	楽器営業本部
電子楽器営業部	クラビノーバ営業課
〒430 浜松市中沢町1-1	TEL.0534(60)3275
北 海 道 支 店	〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター TEL.011(512)6114
仙 台 支 店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL.022(222)6141
東 京 支 店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03(572)3140
名 古 屋 支 店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5140
大 阪 支 店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)7541
広 島 支 店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3748
九 州 支 店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2152

YAMAHA feelin' club



T4960693042717